

農業委員会委員の推薦及び応募の状況（中間公表）

被推薦者（推薦を受ける者）										推 薦 者			最適化推進委員への応募・推薦の別	
氏 名	性 別	年 齢	職 業	経 歴		農業経営の状況	認定農業者等の別	抱負・応募の理由	団体推薦		個人推薦			
				年月日	職名、役職名等				組織の名称	代表者名	氏 名			
中辻 茂徳	男	68	農業	令和7年4月1日～現在	奈良県農業協同組合歌姫支部支部長	水稻 露地野菜	約 6 1 アール	認定を受け ていない	農地の権利移動・転用の許認可業務にあたりたい。	奈良県農業協同組合 平城支店運営委員会	運営委員長 西澤 成晃		長年にわたり、地域農業の発展に努められています。現在、JA平城支店の歌姫支部支部長を努められ、地域に貢献されている。地域の信頼、信任も厚く、農業委員会業務に大きく貢献できると考えます。	無
植原 満晴	男	71	農業	現在	奈良県指導農業士 青野町水利組合長	施設野菜 (いちご)	約 7 3 アール	認定を受け ている		奈良県農業協同組合 伏見出張所運営委員会	運営委員長 岸田 健		イチゴ栽培を中心に、水稻栽培なども嘗んでおられる認定農業者です。長年農業に従事されており、生産技術や栽培スキルだけではなく、農地の保全や適性利用についても深い見識を有しております。また、地域農業や農家情報にも精通しております、その経験から地域の信頼を得られております。植原満晴さんの経験と人柄は大きな力になると確信しております。ぜひ農業委員としてご活躍いただきたく、ここに推薦いたします。	無
西浦 博文	男	73	農業	平成7年2月～平成9年2月 平成19年4月～平成20年3月 平成23年12月～平成26年11月 平成26年6月 平成27年1月～平成27年12月 平成29年7月～現在 平成30年4月～現在	奈良県茶生産青年協議会会長 月ヶ瀬茶葉振興協議会会長 農事組合法人ディーポート月ヶ瀬組合長 西浦博史に経営移譲 月ヶ瀬桃香野自治会会长 農業委員 JA奈良県月ヶ瀬支店運営委員長	茶	約 7 1 3 アール	認定を受け ている	農業発展のために尽したい。	月ヶ瀬地区自治連合会	会長 東 正彦		これまでの農業経験・職歴から、地域住民の信頼を得ており、地域農業や農家情報に精通し、長年に渡り茶業を営み、大和茶の発展に努力され、現在も経営規模拡大を図られている。現在農業委員として活躍されており、農地集積や耕作放棄地の解消・農地の利用に関する最適化等今後、益々農業委員会業務に貢献されると考え、推薦します。	無
川崎 勝則	男	74	農業	平成29年4月～現在 令和5年8月～現在 令和6年7月～現在	法華寺町農業組合総代 農業委員会委員 JAならけん奈良支店運営委員会委員長	水稻	約 4 9 アール	認定を受け ていない	地域の農業事情を考えると農地を守ってきた世代が高齢化する中、地域農業の発展と遊休農地及び耕作放棄地の解消に取り組んでいきたい。	奈良県農業協同組合 奈良支店運営委員会	運営副委員長 中田 武文		奈良県農業協同組合奈良支店の運営委員長を歴任され、農協活動を通じて、農業者の声に耳を傾け、情報収集された意思を農協に的確に伝達していただいている。また、地元の法華寺町農業組合におかれましては、農家組合総代を務められ、農家からの信頼を厚く、多大なる貢献をなされている。また、地域の農業にも精通されておられ、地域農業の発展と遊休農地及び耕作放棄地の解消・農地の適切な有効利用等農業委員会業務に多大なる貢献をなされていると考えるため推薦する。	無
中田 由夏	女	43	農業	令和2年8月～現在	就農	路地野菜 (トマト、きゅうり)	約 6 7 アール	認定を受け ていない	地域の遊休農地の課題に向かい、農業を取り巻く環境が少しでも良くなる様に真摯に活動していきたいと考えております。	奈良県農業協同組合 奈良支店運営委員会	運営委員長 川崎 勝則		奈良市中心部を活動エリアとする奈良県農業協同組合奈良支店管内の白毫寺町に在住している。JAならけん女性大学を卒業され地域農業の発展と高齢化による遊休農地及び耕作放棄地の解消・農地の適切な有効利用等も考えられているため推薦する。	無
大谷 准造	男	68	農業	令和5年7月20日～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	約 1 1 5 アール	認定を受け ていない	過去の職場での農政を担当したことや農地利用最適化推進委員の経験を生かし、地域農業の振興に寄与したい。	田原地区自治連合会	会長 南 善嗣		農政や農地利用最適化推進委員の経験があり、地域住民、農業者からの人望も厚いことから適任者として推薦いたします。	無
前川 幸博	男	64	嘱託職員	昭和55年3月～現在	会社員及び就農	水稻	約 1 2 1 アール	認定を受け ていない	日本を取り巻く環境は、農業に限らず大変厳しい。どうすれば、持続可能な農業ができるか答えの無い難問です。地域の人、農家どうしの助け合いがなければ農家の発展は無いと思います。「農は國の木」微力ながら尽力したいと思います。	都府地区区長総代会	会長 奥谷 克也		被推薦者は、地区内を名阪国道が横断する場所に位置し、開発が進展する実情に接しながら遊休農地の活用等を通じて農業生産の持続的発展に努めている。今後、意欲ある農業従事者の融合により、地域の特色を生かした米作りが必要なことから、地域の農業振興に指導的役割を發揮して農業委員として貢献することを確認して推薦する。	無
大木 博	男	74	農業	平成29年7月～令和2年7月 令和2年7月～現在	農地利用最適化推進委員 農業委員	水稻	約 5 7 アール	認定を受け ていない	平成29年7月より推進委員を3年間、令和2年より6年間農業委員として地域農業の活性化に尽力してきました。これから農業は大きな転換期を迎える時期に農業委員、推進委員の経験を生かして頑張って行きたい。	奈良県農業協同組合 富雄支店運営委員会	副会長 樋口 喜三		これまでの職歴、農業経験等から地域の信頼を得ています。地域農業や農家情報に精通しており、担い手の農地集積、耕作放棄地の未然防止、解消等、農業委員会業務に貢献できると考えます。	無
木下 博美	女	62	農業兼団体役員	平成25年4月～現在 令和元年4月～令和5年 令和5年4月～現在 令和7年4月～現在 令和7年4月～現在 令和7年4月～現在	JAならけん平城支店女性部部長 JAならけん奈良・天理・山辺地区女性部副部長 JAならけん奈良・天理・山辺地区部長 JAならけん女性部部長 近畿女性組織協議会会長 全国女性組織協議会理事	露地野菜 (トマト、きゅうり、奈良漬用すいか)	約 5 0 アール	認定を受け ていない	2026年が国連においても「女性農業従事者の国際年」と国際年がもうけられる中、女性委員として生活に根ざした視点を生かし農業従事者の声に寄り添いながら地域農業の担い手不足問題や耕作放棄地の適切な利用など次世代につなげていく環境づくりに務めてまいりたいと思います。微力ですが、信頼される農業委員として関係機関や地域の皆様と連携し誠心誠意務めてまいります。	奈良県農業協同組合	代表理事理事長 栗原 圭一		被推薦者は、奈良県農業協同組合平城支店内に在住されており、ご主人と共に水稻や野菜の生産に取り組まれています。また、今年度は、奈良県農協女性部の部長や近畿女性組織協議会の会長、全国女性組織協議会の理事として精力的に活動され、地域の農家の方からの人望も厚いです。全国的な活動で得られた経験も生かしつつ、担い手不足や耕作放棄地の利用等の問題点に取り組まれ、農業委員として大きく貢献されると考えたため推薦いたします。	無

被推薦者（推薦を受ける者）									推 薦 者				最適化推進委員への応募・推薦の別		
氏 名	性 別	年 齢	職 業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者等の別	抱負・応募の理由		団体推薦		個人推薦		
				年月日	職名、役職名等	営農類型	耕作面積		組織の名称	代表者名	氏 名	推薦理由			
大西 光子	女	73	農業	令和5年4月～現在	奈良県農協奈良市柏木支店JA女性部部長	露地野菜 施設野菜 (大和菊葉、小松葉等)	約 10 アール	認定を受け ていない	市街地の中での近郊野菜をどの様に存続させていくのか考えたいです。	奈良県農業協同組合	代表理事理事長 栗原 実一			被推薦者は、奈良市中心部を活動エリアとする奈良県農業協同組合奈良市柏木支店管内に在住され、ご主人と共に大和の伝統野菜の生産、出荷に取り組むとともに農協女性部の活動も商店女性部の部長として精力的にされており、奈良市柏木支店管内の農家の女性方からも絶大な信頼を得られています。今後も女性としての目線で農業者の声を的確に伝える事、また、市街地での地域野菜の存続等農業委員業務に多大なる貢献をされると考えるため推薦いたします。	無
木村 好成	男	72	農業・団体役員	昭和44年4月～ 平成11年4月～ 平成20年4月～ 平成21年6月～ 平成21年6月～平成24年6月 平成26年5月～在任中 平成25年4月～在任中 平成27年4月～平成29年3月 平成28年4月～平成29年3月 平成29年8月～平成32年7月 平成30年4月～在任中 平成30年4月～在任中 令和4年8月～在任中 令和4年9月～在任中 令和4年9月～在任中 令和5年7月～在任中 令和5年7月～在任中 令和6年7月～在任中	奈良県経済農業協同組合連合会に入組 奈良県農業協同組合に入組（奈良県経済連包括承継） 針ヶ別所町農地・水・環境向上対策事業 副代表 奈良県農業協同組合退職 奈良県農業協同組合 常勤役員（常務理事） 協業組合 大和高原車検センター常務理事→平成27年5月～専務理事 奈良県農業協同組合都祁支店運営委員長 針ヶ別所町自治会長 六郷地区自治連合会会長 奈良市農地利用最適化推進委員 NPO法人 日本茶インストラクター協会 副理事長 多面的機能交付金事業（針ヶ別所の穂田留を守る会）代表 全国自動車整備協業協同組合 副会長 大和高原北部土地改良区副理事長 (一社) 針ヶ別所未来開発（集落営農型）代表理事 奈良市農業委員 奈良県農業協同組合 経営管理委員	水稻 露地野菜 (産直野菜)	約 300 アール	認定を受け ている	農業委員としての基本（委員会法律・農地法・基盤強化法等）を理解の上、委員のリテラシーをつけて、少子高齢化を踏まえ、当地域（奈良市都祁地区）も将来の農業従事者、後継者の減少を実感する中、耕作放棄地（放任農地・山林化等）の増加は待ったなし、如何に今の農村環境を維持し、両親のいる地域に住み、地域を活性化させ様と思ってくれる地域の魅力作りを農村、農業から発信できる要素を模索し、次世代にバトンタッチできる仕組みの創造と構築に取り組むことを第一歩と位置づける。	郡都区長総代会	会長 奥谷 克也			被推薦者は、長年に亘り農業協同組合連合会に勤務し、地域農業の振興や特産品の産地育成事業等に務められました。地域では、平成20年に「農地・水・環境向上対策事業」の導入に尽力され、継続した取り組みを実施されており、特に遊休農地の対策に務められています。以上のような豊富な経験と実績を生かして、奈良市農業委員の諸施策遂行と課題克服に貢献されることを確信して推薦する。	無
西田 徳博	男	64	農業・団体職員	令和2年4月1日～現在 令和5年7月～現在	奈良県農業協同組合茶業課参与 農地利用最適化推進委員	水稻	約 114 アール	認定に準ず る者を受け ている	農地利用最適化推進委員を3年間務め地域の農業者が抱える課題をおおむね把握し、情報収集した中で、遊休農地農地対策及び地区内外から農地利用する者を確保し、地域と一緒に手が一体となって農地を利用していく体制を進める。又、有害鳥獣対策などに取り組む。	柳生地区自治連合会	会長 大庭 子保治			これまでの職歴、農業経験等から地域の信任を得ている。	無
奥本 敏彦	男	72	農業	昭和46年4月1日～平成19年3月31日 平成19年4月1日～現在	奈良県庁職員 農業経営	水稻 施設野菜 (トマト)	約 183 アール	認定を受け ていない	農地利用最適化推進委員として培った経験を活かし、地元農業の発展や耕作放棄地の発生防止、さらには、各種許認可業務のスムーズな推進、地域計画の推進等に努めたい。	大柳生地区自治連合会	会長 東浦 光昭			今までの職歴や農業経験等から地域の信任を得、自治会長も経験している。地域農業者の情報に精通しており、扱い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止、解消等農業委員業務に貢献できると考える。	無
前田 伸一	男	62	農業	平成2年～平成3年 平成22年～平成24年 平成24年～令和5年 令和元年～現在 令和元年～令和5年 令和2年～令和3年 令和2年～令和3年 令和2年～令和3年	奈良市4Hクラブ会長 柴屋領水利組合組合長 奈良県指導農業士 大字山土木水利組合役員 奈良県農業研究開発センター研究評価委員会評価委員 奈良県指導農業士会会長 普及指導活動に関する外部評価委員会評価委員 奈良県中央卸売市場運営協議会委員	水稻 施設野菜 (トマト、キュウ ウリ)	約 199 アール	認定を受け ている	帯解地区農業の発展に努力したい。	奈良県農業協同組合 帯解地区運営委員会	運営委員長 辻井 乙美			これまでの職歴・農業経験等から地域の信任を得ている。認定農業者として農地の利用集積・集約化について自ら規模拡大を実践し、精力的に活動している。地域農業や農業情報に精通しており、扱い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できると考える。	無
喜多 寛三	男	80	農業	令和5年7月20日～現在	農地利用最適化推進委員	水稻	約 39 アール	認定受け ていない		奈良県農業協同組合 明治地区運営委員会	運営委員長 熊木 秀一			実直な人柄で、JA運営委員会、やまと北部共済組合、神殿町水利組合長を務め、周囲からの信頼も厚い。地域耕作放棄地の改善にも取り組んでおり、地域の期待に応えられることから推薦致します。	無
巽 一孝	男	82	農業	平成20年7月20日～現在 平成26年7月20日～平成29年7月19日 平成29年7月20日～現在	農業委員会委員 農業委員会副会長 農業委員会会长	水稻 露地野菜 果樹 その他	約 50 アール	認定受け ていない	再生困難農地（森林化、竹林化）を地主と話し、早期に非農地化となる様に取り組む。農地のあせんや小規模な集積化の促進又土地改良による圃場整備（木はけ等）に取組む。鳥獣害対策を少しでも拡大し続ける様指導する。高温耐性品種や栽培技術の開発等早期に願う。	奈良県農業協同組合 五ヶ谷地区運営委員会	運営委員長 村田 守			これ迄の実体験を基に我々の地域の直面している高齢化の問題、鳥獣被害、耕作放棄地の拡大等コンプライアンス問題とも照らし合わせながら若者扱い手への集約化を進め持続可能をめざして地域全体を引っ張って行く知力・気力・体力が充分に備わったリーダーである。	無